

1. 平成26年3月中間期連結決算について

(1) 損益実績

(億円)

	H26年3月 中間期	H25年3月 中間期	差 異	前期比
売上高	844	1,075	△ 231	△ 21%
単 独	684	889	△ 205	—
グループ等	160	186	△ 26	—
営業利益(※)	23	81	△ 58	△ 72%
単 独	20	56	△ 36	—
グループ等	3	25	△ 22	—
経常利益	29	83	△ 54	△ 65%
単 独	39	66	△ 27	—
グループ等	△ 10	17	△ 27	—
特別損益	0	△ 39	39	—
当期純利益	17	28	△ 11	△ 39%
単 独	32	20	12	—
グループ等	△ 15	8	△ 23	—

売上高経常利益率	3.4%	7.7%	△ 4.3%
----------	------	------	--------

有利子負債残高	504	618	△ 114
D/Eレシオ	0.37	0.49	△ 0.12
純D/Eレシオ	0.30	0.08	0.22

(注)D/Eレシオの算出方法:有利子負債(リース債務除く)÷純資産

素形材・エネルギーは電力・原子力製品の売上高減少に加え鋼管製品の売上時期ズレによる売上高減及び、操業低迷により営業利益が大幅悪化。産業機械も射出機・IT製品の伸びはあるも、中国向け案件の遅延等による樹脂製品及び他製品の売上減により営業利益は減少。全体の営業利益は23億となり、対前年比△58億となる。但し、期初予想20億に対しては3億の改善。

(2) ※H26年3月中間期連結営業利益の
H25年3月中間期比 58億円減少の要因

億円

・生産/売上増減による利益の増減	△ 74
・原材料、部品等の価格UP	△ 5
・燃料・熱エネルギーの価格UP	△ 1
・代価減、コスト改善	△ 7
・為替差益 (\$ = 79.55円 ⇒ 86.96円)	4
・減価償却費減少、経費等節減	25
合計	△ 58

(3) 連結受注・売上実績 (但し、輸出は単体を表示)

《受注高》

(億円)

	H26年3月 中間期	H25年3月 中間期	差 異
素形材・エネルギー	310	229	81
産業機械	571	640	△ 69
不動産他	16	11	5
合 計	898	881	17
(内、輸出)	(459)	(335)	(124)

《売上高》

(億円)

	H26年3月 中間期	H25年3月 中間期	差 異
素形材・エネルギー	260	445	△ 185
産業機械	567	618	△ 51
不動産他	16	11	5
合 計	844	1,075	△ 231
(内、輸出)	(383)	(545)	(△ 162)

《受注残高》

(億円)

	H26年3月 中間期	H25年3月 中間期	差 異
素形材・エネルギー	1,178	1,182	△ 4
産業機械	886	995	△ 109
不動産他	7	7	0
合 計	2,072	2,185	△ 113
(内、輸出)	(1,033)	(1,096)	(△ 63)

2. 平成26年3月期の連結業績見通しについて

(1) 損益見通し

(億円)

	H26年3月期 予想	H25年3月期 実績	差 異 (予想)	前期比
売上高	2,000	2,206	△ 206	△ 9%
単 独	1,643	1,843	△ 200	—
グループ等	357	363	△ 6	—
営業利益(※)	85	166	△ 81	△ 49%
単 独	63	122	△ 59	—
グループ等	22	44	△ 22	—
経常利益	86	171	△ 85	△ 50%
単 独	78	135	△ 57	—
グループ等	8	36	△ 28	—
特別損益	△ 1	△ 23	22	—
当期純利益	50	82	△ 32	△ 39%
単 独	55	75	△ 20	—
グループ等	△ 5	7	△ 12	—

売上高経常利益率	4.3%	7.8%	△ 3.5%
----------	------	------	--------

有利子負債残高	406	510	△ 104
D/Eレシオ	0.29	0.38	△ 0.09
純D/Eレシオ	0.04	0.00	0.04

(注)D/Eレシオの算出方法:有利子負債(リース債務除く)÷純資産

対前年比△49%の営業減益の見込みは前回予想と変わらず。
 素形材・エネルギーは電力・原子力製品の売上が翌年度にズレるなど大幅に減少する中、受注も当初予想に対して未達となる影響が大きいですが、固定費等の削減を主に対応。
 産業機械は射出機が受注・売上ともに好調で、樹脂機械・IT関連製品での中国向け案件遅延による受注・売上ズレ発生もこれをカバーする。 全社としての当初営業利益85億は確保の見込み。

(2) ※H26年3月期連結営業利益予想の H25年3月期比 81億円減少の要因

億円

・生産/売上増減による利益の増減	△ 66
・原材料、部品等の価格UP	△ 18
・燃料・熱エネルギーの価格UP	△ 4
・代価減、コスト改善	△ 35
・為替差益(\$ 90円を想定)	10
・減価償却費減少、経費等節減	32
合計	△ 81

(3) 連結売上予想 (但し、輸出は単体を表示)

《売上高》

(億円)

	H26年3月期 予想	H25年3月期 実績	差 異 (予想)
素形材・エネルギー	734	882	△ 148
産 業 機 械	1,238	1,301	△ 63
不 動 産 他	26	22	4
合 計	2,000	2,206	△ 206
(内、輸出)	(924)	(1,081)	(△ 157)

(4) 設備投資計画

(億円)

	H26年3月期 予想	H25年3月期 実績
素形材・エネルギー	21	26
産 業 機 械	36	29
不 動 産 他	1	0
合 計	58	55

以 上